

本月十日当国下院外務省予算委員会ニ於テ或議員ガ揚子江流域ニ於テ外務省ハ英國資本家ニ対シ援助ヲ与ヘサルコト及近來支那ニ於テ英國ノ地歩ノ維持セラレサルコトニ付攻撃ヲ加ヘタルガ外務大臣ハ之ニ対シ大要左ノ通り答ヘタリ

揚子江流域ニ於テハ既ニ英國ノ資本ヲ投シ居レル鐵道ニ關スル利益ノ外吾人ハ同地域ニ対シ何等特別ノ權利ヲ有セズト雖吾人ハ同地域ニ於テ今後更ニ鐵道ヲ敷設スルノ權利アルコト且將來鐵道ニ關スル許与ハ英國ノモノタラザルベカラスト信ス抑支那鐵道ニ關シ支那政府ハ千八百九十八年英國政府ト交換シタル文書ニ依リ揚子江流域ハ他國ニ之ヲ割讓セサルヘキ旨誓約シタル所アリ右誓約ハ今尙其効力存続シ今日迄右地域割讓ニ關シ何等問題起リタルコトナシ千八百九十五年香上銀行ハ支那借款參加ノ件ニ關シ独重銀行ト取極ヲ結ヒタルガ鐵道ノ投資ノ問題ハ特別取極ヲ以テ協定スルコト、セリ千九百五年右取極ニ多少ノ變更ヲ加ヘ兩当事者自由活動ノ範圍ヲ擴張シ千八百九十八年右兩國団体ニ於テ支那鐵道建設ニ關シ英独ノ利益範圍ヲ確定セル取極ヲ為シ揚子江流域ハ英國ニ山東省ハ独逸ニ讓ルコトトセリ右

サルニ至ルヘシ

二九〇 十一月二十六日

在南京高橋領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

寧湘鐵道ノ測量開始ニ關シ報告ノ件

南領第一七七号

(十二月一日接受)

大正三年十一月二十六日

在南京

領事代理 高橋新治(印)

外務大臣男爵

加藤高明殿

本年三月末北京ニ於テ成立シタル寧湘鐵道借款ニ關シテハ其後査トシテ聞ク所ナク或ハ歐洲戰爭ノ結果暫時中止ノ否運ニ立至ルベシトサヘ悲觀セラレ居リタルガ約三週日前ヨリ当地城内中正街ニ同工程局ヲ開設シ愈々線路ノ実測ニ着手スル運ビトナレリ右ニ關シ同局員孫章甫(米國 Cornell University 卒業生、從來京奉、吉長兩鐵道ニ從事セリ)ノ語ル処ニ拠レバ今般資本主中英公司 (British & Chinese Corporation) ヨリ多少融通ノ途着キ本工程局開設ノ運ハニ至リタルモ目下ノ処單ニ測量事業ノミニ止ルベク將來全線七百哩ノ工事完成迄ニハ五六年ヲ要スル見込ナリ目下英

八 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 (一) 二九〇 (一) 二九一

ハ兩國財業者間ノ取極ニシテ兩國政府間ノ條約ニアラズ千九百九年英独仏間ニ広湖鐵道借款契約締結セラレ千九百十一年米國之ニ加入シ是等取極ハ非常ニ複雑シ来リタルガ近來本大臣並ニ關係団体ハ右紛糾ヲ解ク為メ尽力スル所アリ目下大ナル鐵道讓与ニ關シ懸案中ノモノアリ団体間ノ特別ノ協定ハ今ヤ各國ヲシテ其ノ支那ニ於ケル特殊利益ヲ有シ居ル地域ニ於テ從來ヨリモ自由ニ活動セシムルニ至ルヘシ西藏ニ關シテハ恰モ支那ノ地位ヲ鞏固ナラシムル條約ヲ取結ヒタル際支那ハ西藏ヲ征服シ同地ヲ支那ノ一省トシ遂ニ印度國境ヲ不安固ノモノタラシムル迄ノ侵略的措施ヲ執リタルカ右ハ最モ非理ナル行動ニシテ吾人ノ大ニ苦情ヲ呈スル所以ナリ若シ之レナカリセハ新協約締結ノ必要ナカリシナリ新協約唯一ノ目的ハ支那ヲシテ或ル特定ノ境界ヲ劃シ同境界外ニ於テハ西藏ノ自治ヲ認メ之レニ干涉セシメサラシメントスルニアリ支那ハ未タ右協約ニ調印セスト雖何レ調印スルニ至ランコトヲ希望シ居レリ若シ支那ニシテ之レニ調印セス將來同國境ヲ脅ス如キ侵略的政策ヲ執ルニ至ランカ其ノ結果タルヤ支那ニ禍害ヲ来シ吾人ニモ累ヲ及ボシ遂ニ支那政府ニ対シ嚴重ニ交渉セサルヲ得サルノ已ムヲ得

國技師四名(内技師長フランク、グー Frank Grooe 旧ト九広鐵道ニ從事セリ) 外ニ支那技師十余名、事務員十余名アリ本部ヲ南京ニ置キ南昌長沙等ニハ未ダ何等支部ノ設置ナシト

尚本線路狀況等ニ關シ同人ノ談ニヨレバ全長七百餘哩中安徽江西兩省境界地方ハ概ネ山地ナルモ難工事ト称スベキハ極メテ少ク沿線予定停車場トシテハ実測ノ結果多少ノ變更アラシモ蕪湖蕪國府徽州、南昌等ノ都邑アリ又余于樂平等ノ炭田地方ヲ通過スルヲ以テ全通ノ上ハ地方富源開發上資益スル処少ナカラザルベシト

右御參考迄報告申進候 敬具

追而今夏以來專ラ当地ニ風説サレ居タル寧湘鐵道ニ於テ当地江甯鐵道(即チ城内鐵道)買収ノ件ハ事實ニ非スト前記孫局員ハ語リタル由ニ有之候

二 南潯鐵道

二九一 二月十七日

古市東亞興業社長ヨリ
牧野外務大臣宛

南潯鐵道不足資金ノ調達ニ付請願ノ件

江西南潯鐵道敷設資金トシテ明治四十年三月在上海大成商工商會ノ仲介ニ由リ日本興業銀行ト江西鐵路公司トノ間ニ間接借款ヲ成立セシメラタルモ一昨年七月ニ至リ当会社ハ特別御援助ノ下ニ新ニ金五百万円ノ直接借款契約ヲ訂結シ逐次資金ノ引渡ヲ為シ来リ候処該資金ハ旧債務ノ償還支払未済ニ属スル機械材料代価及工事費等ニ充当支弁セラレ而モ公司ハ創立以來幾多ノ年所ヲ經其間屢次内部ノ變動アリ近ク又第一第二次革命動乱ノ災厄ニ遭遇シ事業ノ進行ヲ阻害セラレ不測ノ出費ヲ要シタル等有形無形ニ多大ノ損害ヲ受ケ目下資金ノ残余僅少トナリタルニ付今般公司当事者ヨリ不足資金ノ借入ニ関シ別紙甲乙ノ書面ヲ提出シ来リ候之ヲ添附セル別紙予算丙ニ照スニ全線ノ完成ニ要スル工事費並ニ増設ヲ要スヘキ建造物費及車輛費等合計式百四拾七万七千四百元ハ實際必要アルノミナラス当会社ハ前記予算額ノ外借款利息及予備トシテ相当ノ金額ヲモ見積リ合計参百万円ヲ調達シテ貸付スルニアラサレハ完成スル能ハサルモノト認メ候

江西南潯鐵道ハ全線ノ延長八十哩ニ過キス工事ハ三大鉄橋

附屬書 右三百万円貸付ニ関スル請議案

附記 四月十五日附山本總理大臣発内閣外申第一二三号
右請議案決裁ノ件

政機密送第三八号

南潯鐵道問題ニ関シ閣議請求ノ件

本件ニ関シ別紙ノ通閣議決定相成候様致度此段及請議候也

(欄外註記)

「本案ハ牧野外務大臣ヨリ高橋大藏大臣ニ協議ノ結果提出シタルモノ也」

(附屬書)

南潯鐵路公司ニ三百万円貸付ニ関スル請議案

江西省九江ヨリ南昌ニ至ル鐵道即チ所謂南潯鐵道ニ対シテハ明治四十年三月中在上海大成工商會社ノ仲介ヲ以テ我方ヨリ興業銀行名義ニテ上海規銀百万兩ノ貸付ヲ行ヒ更ニ明治四十五年七月ニ至リ右百万兩ノ旧債ヲ整理シテ之ヲ我方トノ直接關係トナシ且同鐵道ト我方トノ關係ヲシテ益々密接ナラシメンカ為東亜興業会社ヲシテ同鐵路公司トノ間ニ金五百万円ノ借款契約ヲ締結セシメタリ然ルニ其間同公司内部ニ屢次ノ變動アリ又革命動乱及南北衝突ノ余波ヲ蒙リテ工事ノ進行甚シク阻害セラレ且不測ノ出費ヲ要シタル等

ノ外平易ノ鐵道ナルニ之レカ為メニ金八百万円ヲ貸付スレハ一哩約金拾万円ニ當リ過大ノ貸付タル批評ナキニアラサルヘキモ本線路ノ価値ヨリ視ルトキハ決シテ過大ノ貸付ニアラスト信シ候而シテ曩ニ訂結シタル借款契約ニ於テ将来ヲ予想シテ資金繰借ノ場合ヲ約定シタル關係上不足資金ノ貸付ハ当会社ノ責務ニ属シ用途亦目前ニ迫レルモノアルニ此際普通ノ資本家ニ依リテ調達スルカ如キハ到底望ミ無キコトニ有之候間当初ノ御方針並ニ從來ノ御關係ニ基キ特別ノ御詮議ヲ以テ出資上何分ノ御援助ヲ仰キ候様致度此段奉請願候也

大正三年二月十七日

東亜興業株式会社

取締役社長 古市公威(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

註 別紙甲、乙、丙省略

二九二 四月六日 牧野外務大臣ヨリ
山本總理大臣宛

南潯鐵路公司ニ続借三百万円貸付ニ関シ閣議

請求ノ件

有形無形ニ多大ノ損害ヲ受ケタル為資金ノ残額僅少トナリタル趣ニテ今般東亜興業会社ヨリ前記明治四十五年七月ノ五百万円借款契約ニ続借ノ規定アルニ顧ミ此際公司当事者ノ希望ヲ容レ全線完成ニ要スル工事費建造物増設費車輛費竝借款利息及予備費トシテ更ニ金三百万円ヲ貸付クルコト、致度旨願出アリ元來同鐵道ノ經營如何ハ揚子江流域ニ於ケル我利權ノ消長トモ多大ノ關係ヲ有スルモノナルニ付前記五百万円借款続借ノ名義ニテ東亜興業会社申出通リ同社ヲシテ更ニ金三百万円ヲ限リ南潯鐵路公司ニ貸付シムル為政府ヨリ東亜興業会社ニ対シ相当資金ヲ融通スルコトニ致度シ

右閣議ヲ請フ

(附記)

請議案決裁ノ件

内閣外申第一三三号

大正三年四月六日政機密送第三八号

南潯鐵道問題ニ関スル件請議ノ通

但シ詳細ノ儀ハ大藏省ト協議スベシ

大正三年四月五日

内閣総理大臣伯爵 山本権兵衛(印)

二九三 四月十四日 牧野外務大臣ヨリ
在漢口高橋總領事代理宛

南潯鐵道ニ対スル英國側ノ動キニ関スル消息
ニ付報告方訓令ノ件

政機密送第一八号

近來支那ニ於ケル實業的企画ニ対スル列國ノ利權獲得競争
頓ニ激甚ト成リ其結果支那側ニ喰ハスニ好餌ヲ以テシ他國
ノ既得利權ヲ侵害シテ迄モ事ノ成立ヲ図ルノ情勢ナルハ御
承知ノ通りニ有之候処予テ我方ト密接ノ關係アル南潯鐵道
ハ英國側ニ於テ其勢域ト称シ居ル揚子江流域ニ存在シ且過
般中英公司ト支那政府トノ間ニ借款契約ノ成立ヲ見タル寧
湘線ト接觸スル關係上英國側ニ於テ或ハ追テ何等カノ形式
ニ依リ之ニ指ヲ染ムルニ至ルコトナキヲ保セズト思考被致
候ニ付同鐵道ニ関スル消息ニ付テハ自今特ニ十分御注意ノ
上何等御聞込ノ筋モアラバ隨時御報告相成候様致度尚右ノ
趣ハ貴官ヨリ在九江八木書記生ヘモ可然御伝達置相成度將
又東亜興業会社ヨリモ上記ノ次第在貴地方同社關係者ニ申
送リタル趣ニ付御含置相成度此段申進候也

二九五 四月二十七日 在漢口高橋總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

交通部ハ南潯鐵道国有ノ為寧湘鐵道借款流用
ノ意向ナル件

第九六号

支那側ニ於テ南潯鐵道ヲ国有ト為サントスル計画アル次第
ハ既報ノ通ナルガ四月二十五日附八木書記生ノ報告ニ依レ
ハ交通部派遣ニ係ル同鐵道検査員ハ国有問題ニ付テハ一切
言明ヲ避ケタルモ且下国有案ニ必要ナリト思考セラルル諸
種ノ調査ヲ同公司ニ命シ公司ハ頗ル多忙ヲ極メ居リ公司側
ノ推測ナリトテ張工務科長ノ語ル所ニ依レハ同鐵道国有ニ
付要スル經費ハ交通部ニ於テハ今般成立シタル寧湘鐵道ノ
借款ヲ流用スル意ナルヘク日本借款カ如何ニナルヘキヤハ
関知セサル所ナルモ公司側ニ於テハ株金償還ダニ得ハ別ニ
反對スルコトナカルヘシト言ヘリ

在支公使ヘ転電セリ

二九六 四月二十八日 加藤外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛(電報)

南潯鐵道国有問題ニ関シ中國側ニ警告方訓令

註 右同文訓令ハ同日付ニテ北京ヘハ政機密送第一〇四号、上
海ヘハ政機密送第三〇号ヲ以テ発遣セラレタリ

二九四 四月二十一日 加藤外務大臣ヨリ
在中国山座公使、在上海村上及在漢
口高橋兩總領事代理宛

南潯鐵路公司二三百万円貸付ニ関スル閣議決
定通報ノ件

政機密送第一一一号(北京宛)

政機密送第三一一号(上海宛)

各通

政機密送第二〇号(漢口宛)

江西省南潯鐵道追加借款資金調達ノ件ニ関シ別紙甲号写ノ
通東亜興業会社社長古市公威ヨリ願出有之候ニ付別紙乙号
写ノ通閣議案提出致候結果同会社ヲシテ金三百万円ヲ南潯
鐵路公司ニ貸付シムル為政府ヨリ相当資金ヲ融通スルコト
ニ四月十五日閣議決定相成候間右様御了知相成度此段申進
候也

註 別紙甲号(二月十七日付古市東亜興業社長ノ請願書並ニ附
屬書写)及乙号(南潯鐵道問題ニ関シ閣議請求ノ件政機密
送第三八号写)前掲ニ付省略ス

ノ件

第二一三三号

高橋第九六号ニ関シ支那側ニ於テ寧湘借款ヲ利用シ南潯
鐵道ヲ国有トナスカ如キコトアリテハ政機密送第一一一号
ヲ以テ申進置キタル続借問題モアル折柄誠ニ由々敷次第ナ
ルヲ以テ貴官ハ支那当局ニ会见シ南潯鐵道ニ対スル我特殊
ノ關係ヲ説示シ支那側ニ於テ予メ我ニ謀ルコトナクシテ國
有ヲ決行スルカ如キコトアラハ容易ナラサル事態ヲ生スル
ニ至ルヘキ旨警告ヲ与ヘ結果電報アリタシ

二九七 四月三十日 在中国山座公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道国有問題ニ関スル中國側ヘノ警告ハ
交通部百万円借款承諾后ト致度キ件

第三四九号

貴電第二一三三号ニ関シ政機密送第一一一号貴信四月三十日
接到シタルニ付早速支那当局ニ対シ御訓令ノ趣申入ルヘキ
所右ハ交通部申込ノ百万円借款ノ件承諾ノ旨横浜正金銀行
ヨリ先方ヘ通シタル後ニスル方便宜ニシテ又効果アルヘシ

ト思ハルルニ付該件至急決定方正金(御訓示ヲ請フ

註 右ニ対スル回訓ニ付テハ前掲二〇文書後段參看

二九八 五月三日 在中国山座公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道国有化ノ議ハアルモ寧湘鐵道借款ヲ

右買収ニ流用ハアリ得サル件

第三六五号

往電第三四九号ニ関シ四月三十日別用ヲ以テ高尾ヲ交通部
路政局総務科長権量ノ許ニ遣ハシタル節事ノ成行ヲ問ハシ
メタルニ同人ハ南潯鐵道ヲ国有トナスコトハ先キ頃会社側
ヨリ特ニ願出アリタルモ中央ニ於テハ該鐵道ノ工事及債務
ノ現状等詳ナラサル為直ニ詮議シ難キニ依リ不取敢委員ヲ
派遣調査セシメ居ルニ付其復命ヲ俟テ何分ノ義決定スル筈
ナリト語リタル由尚本使ハ五月二日英国公使ニ面会ノ序ニ
尋ネタル所同公使ハ南潯鐵道ヲ国有トナスノ説アルコトハ
新聞ニ見エタレトモ寧湘鐵道借款ノ資金用途ハ特定サレ居
リ之ヲ南潯鐵道買収ニ使用スル如キ考ハ毫モ無之旨ヲ述ヘ
タルニ付本使ハ南潯鐵道ニ対スル我地位ハ予テ貴官ノ認ム
ル所殊ニ寧湘鐵道借款ニ付テハ英国側ニ於テ會計ヲ監督ス

之旁々同鐵道会社協理羅朗山及兼テ同社ニ關係深キ陳三立
ノ当地滞在中ナルヲ機トシ西田書記生ヲシテ之レカ内話ヲ
徴セシメタルニ要領左ノ如クニ有之候

羅朗山ノ内話(四月二十六日)

南潯鐵道国有説ニ関スル新聞記事過日当地新聞ニ掲載セ
ラレタルモ同鐵道公司ハ未ダ正式ニ公文ヲ以テ政府ニ国
有ヲ申請シタルコトナシ右国有説ハ思フニ昨年同鐵道總
理吳鈞(目下南昌ニ在リ)ガ同鐵道ニ関スル革命當時ノ
賠償金ヲ政府ニ要求ノ為メ北京ニ赴キタル際交通部ニ於
テハ該鐵道ヲ国有ニセントノ意向ヲ漏シ吳總理モ株主ノ
異議ナクンバ国有トナスモ亦一策ナル可シト申述ベタル
旨聞及ベルニ付其辺ヨリ流布セラレタルモノナル可シ
而シテ政府ハ同鐵道ノ内容及工事調査ノ為メ交通部ヨリ
李・董二名ノ委員ヲ派遣シ右委員一行ハ四月十七日九江
ニ着シ已ニ南昌ニ赴キタル筈ナルカ右調査ハ必ズシモ國
有問題ニ關係セス今日迄ノ処ニテハ単ニ調査ヲ目的トス
ルモノナルモ其結果ハ政府ノ国有問題ニ関スル參考資料
タルヤモ計リ難シ同鐵道大株主並ニ当地ニ於ケル一般株
主ノ意向ハ同鐵道カ商弁タル本来ノ性質ニ鑑ミ已ニ今日

八 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 (二) 二九九

ル訳ナレハ支那側ニ於テ其資金ヲ南潯鐵道買収ニ流用スル
カ如キコトハ不可能ナルヘシト述ヘタルニ同公使ハ支那人
相手ノコト故十分ノ監督行ハルヘキヤハ疑ハシキモ英国側
ニ其考ナク且南潯鐵道カ事實日本國ノモノナルコトハ素ヨ
リ自分ノ認ムル所ナリト云ヘリ

事情右ノ如ク寧湘鐵道借款ノ前貸金額ヲ投スルモ南潯鐵道
ヲ買収スル能ハサルコトハ勿論ナレハ尠クトモ寧湘鐵道借
款ヲ之ニ利用スルコトハナカラント思考ス
在漢口總領事ヘ電報シタリ

二九八 五月四日 在上海村上總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

南潯鐵道国有問題ニ関シ同鐵道協理羅朗山及

陳三立内話ノ件

機密第四六号

(五月十三日接受)

大正三年五月四日

在上海 總領事代理 村上義温(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本件ニ関シテハ過日来当日漢字新聞紙上ニ掲載セラレ且ッ
ハ四月十四日附政機密送第三〇号ヲ以テ御訓令ノ次第モ有

迄投資シタル株金及利子ニシテ確實ナル方法ニヨリ速ニ
政府ヨリ返還セラレ他ニ何等ノ不利益ヲ来サマルニ於テ
ハ財政困難ノ今日必スシモ異議ナカル可キ模様ナリ(因
ニ羅ハ浙江鐵道ハ国有ノ結果旧商弁ノ株金及利子ハ一年
三期即チ三ヶ年ヲ九期ニ分チ政府ヨリ償還セラル、コト
ニ解決セリ尤モ右償還期限ハ四年間ニ延期セントノ説ア
ルヤニ聞ケリト云ヒ添ヘタリ)然ルニ今日迄巨額ノ借款
及株金ヲ投下シタル同鐵道ニ対シ政府カ株主ノ希望スル
カ如ク確實ナル方法ニテ速ニ株金及利子ノ償還ヲ承知ス
ルヤ否ヤハ頗ル疑ハシク現ニ政府ニ於テ斯ク負債多キ鉄
道ヲ株主ノ希望セル条件ニテハ到底国有ニ買上ルコト至
難ニシテ又其必要ナシトセルヤノ説サヘ伝ハリ居レル状
態ニシテ株主側ニ於テモ政府カ若シ同鐵道ヲ買上ケンニ
ハ必スヤ種々ノ口実ニヨリ今日迄投下シタル株金等ノ償
還ヲ減額スベキコト明ナルニ付敢テ同鐵道会社側ヨリ未
タ正式ニ国有ヲ請願スルコトナク着々工事ノ進行ヲ計リ
可成速ニ九江南昌間ヲ全通セシメント企画シ居レル次第
ニシテ之レヲ要スルニ目下同鐵道ハ一面工事ノ進行ヲ計
リ一面交通部委員ノ調査ヲ行ヒ居レルモ国有問題ハ株主

總會ニ於テ決セラル可キモノニ属シ今日迄ノ処ニテハ国有ニ関シ政府会社間何等纏リタル話合存セサルハ事実ナリ殊ニ九江南昌間全通ニ至ラサル今日工事ヲ中止センカ会社ノ損害更ニ増大ス可キニヨリ先般門野氏來滬ノ際五百萬圓借款ノ旧契約ニ基キ東亜興業会社ヨリ更ニ五十萬圓続借ノ義ヲ商議シ最近日本側ノ承諾ヲ得タルニ付キ不日当地ニ於テ契約調印ヲナサントテ関防(会社ノ印)送付方ヲ南昌本社ニ申送レルニヨリ不日呉總理又ハ委員長印携帶來滬ノ筈ナリ

而シテ過般中英公司ト支那政府トノ間ニ八百萬磅ノ寧湘鐵道借款成立ノ結果英國側ニ於テ地形ノ關係上南潯線ヲ何等カノ形式ニヨリ寧湘線ニ接続セシメントスルノ義ニ就テハ未タ確實ナル消息ニ接セサルノミナラス南潯鐵道会社ニ於テモ今日迄ノ処寧湘鐵道ニ関シ毫モ商議ニ与リタルコトナク又何等ノ關係ナシ但シ政府ニ於テ或ハ英國側トノ間ニ何等カノ話合アリ同國又ハ其他ヨリ借款ヲ利用シテ南潯鐵道ヲ買上テ國有トシ寧湘線或ハ南昌広東線トノ接続ヲ計ルナキヲ保シ難シト雖モ右ハ全然政府ノ措置如何ニ由ル事ニシテ南潯鐵道会社トハ何等關係ナク同

シテハ鐵道会社ト政府間ニ何等纏リタルコトナク交通部ノ派遣セル委員ハ單ニ鐵道調査ニ過ギス尤モ会社側ニ於テハ政府ニテ株主ノ希望タル株金及利子全部ヲ速カニ償還スルコトヲ承諾スルニ於テハ國有トスルニ敢テ異議ナキカ如キモ同鐵道ノ現状ニ照ラシ政府カ株主側ノ希望スルカ如キ条件ヲ直ニ承諾スルトモ思惟セラレス会社側ニ於テモ商弁タル同鐵道ノ性質ニ鑑ミ株主ノ利益十分ナラサル限り國有ニ賛成シ難シ現ニ同鐵道モ陰曆本年末頃ニハ二三ノ鉄橋ハ別トシ九江南昌間全通スルニ至ル可ク左スレハ現時鄱陽湖上ニ於ケル小蒸汽船ノ困難不完全ナル交通機關ニ替ハルニ便利ナル鐵道ヲ以テスル次第ニテ同鐵道全通后ノ至便ナルハ云フ迄モナク收入モ大ニ増加シ商弁ノ独立經營必スシモ至難ニアラサルニ付種々ノ困難ヲ排シ工事ノ進行ヲ急ケル次第ニシテ東亜興業会社ヨリノ五十萬圓続借ノ義モ之レガ為メナリ尤モ万一政府カ会社ニ対シ株主ノ満足スルニ足ル方法ニテ買上クルコト、ナラハ國有問題モ或ハ容易ニ解決ス可キヤモ難計モ借款其他種々ナル事情纏綿セル同鐵道ノ現状ニ照ラシ國有問題ハ容易ニ実行ニ至ラサル可ク且ツ仮ヘ政府カ國有ヲ企

社ニ於テハ目下ノ処株主ノ利益擁護並ニ東亜興業会社トノ借款契約ニ基キ飽迄工事ヲ進行セシムル考ナリ万一政府ニシテ南潯鐵道ヲ國有トシ英國側ニ關係ヲ有セシムルカ如キコトアランカ同会社側ヨリハ株主ノ國有ニ異議ナキ限り何等ノ反對ヲ唱ヘ能ハサルモ日本側ニ於テハ同社ト東亜興業ノ借款契約ヲ楯トシ嚴重ニ抗議シ得ベク支那政府ニ於テモ國有ノ曉尚ホ日本側ト從前ノ關係ヲ繼續スレバ兎モ角右借款契約存続シ而モ日本側トノ打合付カスシテ直ニ日本側ト關係ヲ絶チ英國側ト結ハントスルカ如キハ到底容易ノ業ニ非ラサル可キヲ信ズ云々

陳三立ノ内話(五月三日)

自分ハ過般墓參旁鄉里江西ニ赴キ二三日前帰滬シタル次第ニシテ南昌ニ於テハ李都督病氣ノ為メ面会セサリシモ同方面ハ各地同様種々ノ謠言伝ハレルモ南京方面ノ如ク甚タシカラスシテ表面ハ比較的静穩ナリ江西内地ノ商事等モ第一第二革命ノ影響ヲ受ケ衰靡セルモ漸次回復ノ氣運ニ向ヒツアル現象ヲ呈セルモ御承知ノ通り支那ノ前途ハ國本ノ確立セス何等如何ナル事變ニヨリ如何ニ激変スルカハ俄カニ予測シ難シト述べ南潯鐵道ノ國有說ニ関

画スルモ之レカ買上ケ費ハ固ヨリ政府現時ノ財政ニ於テ不可能ナルニ付從來ノ關係ニ鑑ミ日本側ヨリ更ニ借款スルカ或ハ寧湘又ハ其他ノ借款ノ如ク英國側其他ヨリ借款スルノ外ナキモノト信スルモ政府カ果シテ如何ナル資金又ハ如何ナル借款ニヨリ同鐵道ノ買収費ニ充テントノ底意アルカハ自分等ノ関知シ能ハサル所ナリ云々

要之同社幹部タル兩人ニ於テモ尚ホ株主又ハ企業者トシテノ個人の利害ヨリ予想外ニ多額ノ資金ヲ要シタル同鐵道ノ却テ國有トナルノ有利ヲ思ヒ内心之レヲ期待シ居レルモノト認メ得可キ筋有之右何等カノ御參考迄此段及報告候

敬具

写送付先 在北京公使 漢口總領事代理

三〇〇 五月五日 在中国山座公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道國有問題ニ関シ葉交通次長ノ言明及
同次長警告ニ付報告ノ件

第三七〇号

往電第三六七号ニ関シ五月五日葉交通次長(梁敦彥未タ就任セス)ニ面会シタルニ同官ハ南潯鐵道ガ東亜興業会社ト

密接ノ關係アルコトハ疾クヨリ承知シ居レリ併シ同鐵道ノ現狀ニ付世上兎角ノ批難アルニ付目下実狀取調ノ為委員ヲ派遣シアルモ同鐵道ヲ国有ト為サントノ目的ヲ以テセルニ非ラス又現ニ政府ハ之ヲ国有ト為スノ意志ナキノミナラス其弁法亦極メテ困難ナル旨ヲ述ヘタリ本使ハ右ハ帝國政府ヘ電報スヘシト告ケ尚今後万一国有ト為サントスルカ如キ場合ニハ必ス予メ我方ト熟議スヘク然ラスンハ非常ノ面倒ヲ生スヘキ旨ヲ繰返シ警告シ最後ニ往電第三六五号英國公使ト談話ノ大要ヲ語リタルニ葉モ寧湘鐵道ノ借款ヲ他ニ流用スルカ如キハ到底実行出来サルコトナリト云ヘリ葉ハ尚右談話中南潯鐵道ハ過去ノ経営宜シキヲ得サリシ為交通部ノ計算ニテハ到底引合ハスト述ヘ且國有ト為スノ意志ナキコトヲ極メテ明白ニ言明セル等ノ模様ニ依リテ察スルニ葉ニ於テハ既ニ委員ヨリ大体ノ報告ニ接シ居ルモノ、如シ漢口ヘ電報シタリ

三〇一 五月七日 在漢口高橋總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道国有問題ニ関シ八木書記生同鐵道検査員ニ質問ノ件

去月二十七日在漢口高橋總領事代理ヨリ交通部ノ派遣ニ係ル南潯鐵道検査員ハ同鐵道会社ニ對シ國有案ニ必要ナリト思考スル各種ノ調査ヲ命シタル趣竝同鐵道当局者ハ交通部ニ於テハ國有ニ要スル經費ニハ寧湘鐵道借款資金ヲ流用スル意ナルベシトノ旨ヲ語リタル趣電報有之事態果シテ右様ノ如クナルニ於テハ我方從來ノ關係ニ顧ミ看過スヘカラサル義ト存シ翌二十八日在北京山座公使ニ向テ此際支那側ニ對シ南潯鐵道ニ對スル我特種ノ關係ヲ説示シ支那側ニ於テ予メ我ニ謀ルコトナクシテ同鐵道国有ヲ決行スルカ如キコトアラハ容易ナラサル事態ヲ生スルニ至ルヘキ旨警告ヲ与フル様電訓シ置キタル処本月三日同公使ヨリ交通部当局者ハ公使館員ノ問ニ對シ南潯鐵道ヲ国有トナスコトニ付テハ先般同鐵道会社側ヨリ特ニ願出アリタルモ中央ニ於テハ該鐵道ノ工事及債務ノ現狀等詳ナラサル為不取敢委員ヲ派遣調査セシメ居リ其復命ヲ俟チ何分ノ義決定スル筈ナル旨ヲ内話シタル趣竝英國公使ハ本月二日同公使ノ問ニ對シ南潯鐵道ヲ国有トナスノ說アルコトハ新聞ニテ承知シタルモ寧湘鐵道借款ノ使途ハ特定サレ居リ之ヲ南潯鐵道買収ニ使用スルカ如キ考ハ毫モ無之旨ヲ述ヘタルニ付同公使ヨリ南潯

第九八号

往電第九六号ニ関シ去ル四日八木書記生ニ於テ南潯鐵道検査員ニ面会ノ節國有問題ニ付質問シタルニ検査員ハ今回突然交通部ヨリ取調事項ヲ指摘セラレテ出張シ之カ取調ヲナシタル迄ニテ中央交通部ノ國有問題等ニ関スル意向ニ付テハ一向承知セスト答ヘ又検査ノ結果ニ付質問ヲ試ミタルニ工事遅延ニ依ル損失ノ外著シク不満足ノ点ヲ發見セスト答ヘタリト御參考迄在支公使ヘ電報シタリ

三〇二 五月八日 加藤外務大臣ヨリ
在英國井上大使宛

南潯鐵道国有問題ニ関スル經過通報ノ件
政機密送第三三三号

過般中英公司ト支那政府トノ間ニ寧湘鐵道借款契約成立シタル次第ハ既ニ御承知ノ通ニ有之候処一方予テ我方ト密接ノ關係ヲ有スル南潯鐵道ハ英國側ニ於テ其勢域ト称シ居ル揚子江流域ニ存在スルノミナラス右寧湘線ト接触スル關係上英國側ニ於テ或ハ追テ何等カノ形式ニ依リ之ニ指ヲ染ムルコトナキヲ保セスト思考シ同鐵道ニ関スル消息ニ付テハ特ニ十分注意ヲ払フベキ旨早速關係ノ向ニ訓令シ置タルニ

鐵道ニ對スル日本ノ地位ハ予テヨリ英國公使ノ認ムル所ナルノミナラズ寧湘鐵道借款ニ付テハ英國側ニ於テ會計ヲ監督スル次第ナルヲ以テ支那側ニ於テ其資金ヲ南潯鐵道買収ニ流用スルカ如キコトハ不可能ナルベシト述ヘタルニ之ニ對シ英國公使ハ支那人相手ノコト故十分ノ監督行ハルヘキヤ否ヤハ疑ハシキモ英國側ニハ同鐵道ヲ寧湘鐵道借款資金ニテ國有トナスカ如キ考ナク且同鐵道カ事実日本ノモノナルコトハ素ヨリ認ムル所ナリト語リタルヲ以テ寧湘鐵道借款ノ前貸全額ヲ投スルモ南潯鐵道ヲ買収スルコト能ハサルノ事實ニ顧ミ全借款ヲ南潯鐵道ニ利用スルカ如キコト可無之ト思考スル旨回電有之候間御含迄此段申進候也

三〇三 五月十六日 在上海村上總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道国有問題ト続借金額ニ関シ白岩等商議ノ件

第三二二号
南潯鐵道続借ノ件ニ関シ本月十四日来吳總理羅朗山白岩側トノ会見ニ於テ先方ハ五十万円続借ノ義ハ異議ナキモ二百万円ノ新款ニ付テハ目今北京政府ト國有ノ上寧湘線資金ヲ

転用スルコトニ大体相談纏リ居リ株主ニ於テモ之レニ異議ナキ次第ニ付借入ノ必要ナキ旨申居リタルモ白岩ヨリ該鐵路ハ寧湘線南昌福建計画線其ノ他落成ニ連レ價格益騰貴スヘク特ニ未成ノ現状ニ於テハ仮令国有トナルモ買上値段投資ノ総額ニ達スルコト万有リ得ヘカラス尚全線ノ四分ノ一ニ足ラサル未成線ニ英國ノ資金ヲ充用スルカ如キハ債権者タル日本側ノ利害ト背馳スル所ナルニ付テハ到底五十万円ノミノ続借ニハ同意シ能ハサル旨縷述セシ結果先方ニ於テモ亦大体五十万円続借ノ外二百万円ノ新借款ヲナスコトニ同意シタリ而シテ五十万円続借ノ条件ハ総テ前五百万円借款ト同シク只期限ヲ続借ノ年ヨリ十年間据置後五ヶ年払トスルコトトシ二百万円ノ新款ニ関シテハ既ニ株主側ヨリノ請願ニ応シ中央政府ヨリ大体国有ニ同意ヲ与ヘタル事情モアリ特ニ調印後三ヶ月内ニ国有成立セサル時借款有効トナルヘキ条件付契約ヲ作製シタキ旨申出テ白岩ヨリ一ヶ月半ニ短縮方ヲ、先方ヨリハ二ヶ月ヲ主張シ將又之レカ弁済期限ニ関シテハ先方ニ於テ十ヶ年据置後隨時払ヲ主張シ当方ヨリハ前借款五百五十万円未済ノ間未タ仕払能力ナキモノト云ヒ得ヘキニヨリ前借金額弁済ノ年ヨリ四十万円宛五ヶ

第三四号 (至急)

往電第三二二号ヲ以テ所報ノ南潯鐵道五十万円及二百万円ノ続借ニ関シ本月十五日附ヲ以テ昨十九日要領左ノ如ク契約セリ即チ第一続借五十万円ノ分ニ関シテハ担保其ノ他総テ前借款規約ニ準拠スルコトトシ仕払期ヲ十五ヶ年内十年間ハ利息ノミヲ仕払ヒ其後大正十八年ニ至ル五ヶ年ニ毎年一回元金五十万円ツ、利息ト共ニ仕払フヘキヲ定メ又第二続借二百万円ノ分ニ関シテハ前契約第八条ニヨリ二百万円ヲ東亜興業会社ヨリ借用シ其儘同社ニ預置キ工事進行ニ從ヒテ領収スルコトトシ借款期限ハ二十三年第十八年迄ハ利子ノミヲ交附シ第十九年ヨリ第二十二年ニ至ル五ヶ年毎年二回四十万円ツ、利息ト共ニ均済スヘク尚前契約第四条ニヨリ二百五十万円ノ仕払五ヶ年延長ノトキハ協議上右期限ヲモ追次延長シ得ヘク担保ハ五十万円ノ分ト同シク前契約第五条規約ノモノヲ共通シ其ノ他ハ総テ前契約ノ規定ニ準拠スルコトトシ而シテ本二百万円ノ分ニ関シテハ別ニ附条ヲ設ケ「本契約ハ本年六月三十日ニ至リ効力ヲ生スルモノトシ若シ同日以前ニ於テ支那政府ニ於テ南潯鐵道国有ノ手續ヲ了シタルトキハ本契約ヲ廢棄スルコトヲ双方合意ス」ト

年払トスヘキ旨ヲ主張シ居リ共ニ合意ニ至ラサルモ要スルニ大体ニ於テ先方モ該線国有見合セノ有利ヲ悟リ五十万円ハ素ヨリ二百万円ノ続借ニモ応セントスルニ至リシモノト認メラル

在支公使ヘ転電セリ

三〇四 五月二十日

加藤外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛(電報)

南潯鐵道国有ノ為寧湘線資金流用ノ情報アル

ニ付注意方ノ件

第二四二号

在上海白岩ヨリ東亞ヘノ來電ニ拠レハ南潯鐵路公司吳總理ハ同鐵路ハ国有トシ寧湘線資金ヲ之ニ流用スルコトニ内定シ居ル旨白岩ニ内話シタル趣ノ処貴電第三六五号ノ次第アルモ村上登本省宛來電第三二二号ノ消息モ有之義ニ付此上共精々御注意相成度シ

三〇五 五月二十日

在上海村上總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道続借契約ニ付求メラレタル領事官ノ

見証ニ関シ請訓ノ件

規約セリ右ハ吳總理陳名譽總理羅協理ヨリ白岩河野調印ノ上只今小官ノ見証ヲ求メ越シタルコロ先方ニ於テ右条件ナクテハ到底商議ニ応セサルヘキ事情ノ由ニ付山座公使ヨリ支那側ヘ国有反対ノ御申入アリタル儀モアレト一応見証ヲ与ヘテ然ルヘキカト認メラルルガ御高見如何至急御回訓ヲ願フ

公使電済

三〇六 五月二十一日

在中国山座公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道国有及続借契約ニ対スル領事官ノ見

証ニ関シ意見上申竝本省ノ意嚮問合ノ件

別 電

同日山座公使宛加藤外務大臣宛來電第三九六号
同右件

第三九五号至急

村上往電第三四号ニ関シ別電ヲ以テ意見ヲ上申セリ

(別 電)

五月二十一日山座公使宛加藤外務大臣宛來電

第三九六号至急

貴電第二四二二号ニ関シ本使ニ於テハ無論注意ヲ怠ラス最近

ノ機会ニ於テ重ネテ当局者ニモ質問スベキガ茲ニ至急確メ
タキハ本省ノ意嚮ハ大体ニ於テ南潯鐵道国有ニ反対ナリヤ
又ハ国有ニハ反対ナキモ外國資本ヲ以テ之ヲ遂行スルガ如
キコトナカラシメ実質ニ於テ從來我方トノ關係ヲ繼續セラ
レタキ考ナリヤノ点ナリ若シ前者ナレハ此際何分往電第三
四号括弧内ノ如キ規定ヲ含ム契約ヲ締結シ領事ガ見証スル
ガ如キハ無論不可ナルノミナラズ後者ノ場合ニ於テモ尠ク
トモ支那政府ニ於テ從來債權者タル東亞興業会社ノ十分満
足スル方法ヲ以テ南潯鐵道ヲ国有トナシタル場合ニ限ル趣
意ノ規定ヲ設クルコト必要ナリト思考ス右ニ関スル御意嚮
至急御回答アリタシ尤モ我方ニ於テ南潯鐵道国有ニ反対ス
ルコトハ其理由ナカルヘシ尚南潯鐵道国有問題ハ客年來株
主自カラノ希望ニ出テタルモノニシテ吳鈞ノ態度モ依然明
瞭ナラス同人上京後當館ニ於テ彼ト聯絡ヲ取り我目的ヲ遺
憾ナク達スルカ如キハ甚タ困難ナリト存スルニ付白岩自カ
ラ彼ト共ニ上京其行動ヲ監視スルコト緊要ナリ就テハ關係
ノ向ヘ談シ左様御取計相成リタシ

上海ヘ電報シタリ

見証ノ件ハ已ニ契約調印済ノコトニモアリ領事館ニ於テ之
ヲ躊躇スルトキハ徒ニ支那側ニ疑念ヲ懷カシメ或ハ破約等
ノ口実ヲ与フルコトト相成ル虞アルノミナラズ見証ナルモ
ノハ單ニ契約成立ノ事實ノミヲ証明スルニ過キストノ解釈
モ付ケ得ベキニ付此際村上ヲシテ遲滞ナク之ヲ与ヘシメ可
然ト思料ス貴官ニ於テ別ニ御異存ナクバ本電ヲ転電スルト
共ニ本文大臣ノ訓令トシテ見証ヲ与ヘ差支ナキ旨至急同官
ニ電達アリタシ將又白岩上京ノ義ハ日清汽船ノ用務モアリ
直ニ実行シ得ルヤ否ヤ不明ナルモ東亞ヲシテ同人ニ向テ成
ルヘク都合差繰リ至急上京方電達セシメ置キタリ

三〇八 五月二十二日 在中国山座公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道統借契約ノ見証ニ関スル訓令上海ニ

電達済ノ件

第四〇一号

貴電第二四五号ニ関シ交通部当局者ノ心事ハ常ニ警戒ヲ要
スルノミナラス如キ契約条項ノ存在ハ今後先方トノ交
渉上我弱点タルノ虞尠カラサルモ貴電御来示ノ次第モアリ
且事態猶予ヲ許サ、ル模様ニ付御訓令トシテ見証スベキ旨

八 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 (一) 三〇八 三〇九

三〇七 五月二十二日 加藤外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛(電報)

南潯鐵道国有ニ関シ回訓並同鐵道統借契約ノ
見証差支ナキ旨本省訓令トシテ上海ヘ電達ア
リタキ件

第二四五号(至急)

村上發第三四号ニ対シテハ五月廿一日貴官經由訓令發電間
際ニ至リ貴電第三九五号ノ御申出アリタルヲ以テ之ヲ見合
セ居リタルニ引續キ貴電第三九六号接到委細了承、当方ニ
於テハ固ヨリ南潯鐵道ノ国有トナラサルコトヲ希望スルモ
去迎貴見ノ通飽迄国有ニ反対スルコトモ事實困難ナルベキ
ニ付結局ハ第三国ノ資本ニ依ラサル条件ニテ同意スルノ外
ナカルベシト思料ス就テハ貴電第三七〇号葉次長言明ノ次
第モアリ此際貴官ヨリ再応支那側ニ交渉ノ上南潯鐵道ハ当
分ノヲ国有トセサルコト又他日国有トナス必要生シタル場
合ニモ東亞從來ノ關係ニ顧ミ同社ニ不利益ナル方法ニ依ラ
サルベキハ勿論国有ノ為資金ヲ要スルトキハ直接間接ヲ問
ハス日本以外ノ外國ヨリハ調達セサルベキコトヲ約束セシ
メ文書ニテ之ヲ確認シ置ク様至急御取計相成タシ

村上ニ電報セリ
上海ヘ電報シタリ

三〇九 五月二十三日 在上海村上總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

南潯鐵道公司ノ統借契約書ヲ送付ノ件

附屬書一 五月十五日調印ノ第一統借契約書ヲ

二 同右第二統借契約書ヲ

機密第四九号

大正三年五月二十三日

在上海

總領事代理 村上 義温(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本月十六日来、往電第三二号及第三四号ヲ以テ稟報旁々請
訓ニ及ビタル南潯鐵路公司東亞興業会社間五拾万円及二百
万円統借ノ件ニ関シ山座公使經由御回訓ノ趣旨ニ基キ小官
ニ於テ見証ヲ与ヘタル契約書ノ写和漢文各二通宛計四通不
取敢及送付候間御査閱相成度猶ホ右締約ノ顛末ハ後信ヲ以
テ可及具報候ニ就テハ右ニ御含置相成候様致度此段申進候

敬具

本信写附屬書類共送付先 山座公使
註 統借契約書ノ漢文写省略ス

(附屬書一)

写

第一統借契約書

江西南潯鐵路有限公司ハ東亜興業株式会社ト訂結シタル明治四十五年七月八日附借款契約附則第三ノ規定ニ拠リ更ニ中華民國元年七月八日附借款契約第三ノ規定ニ拠リ更ニ東亜興業株式会社ヨリ鐵道工事資金ノ借入ヲナシタルニ付双方ノ間ニ左ノ条項ヲ契約ス

第壹条 江西南潯鐵路有限公司ハ東亜興業株式会社ヨリ日本通貨金五拾万円ヲ借受ケタルモノトス

第貳条 江西南潯鐵路公司ハ前条ノ借受金ニ対シ日本通貨金五万円宛ノ借拠拾通ヲ作り東亜興業株式会社ニ提供スルモノトス

第參条 本借款ノ手取額利率、利息ノ起算及利息仕払ノ期日并ニ仕払方法ハ總テ明治四十五年七月八日附借款契約ノ規定ニ準拠スルモノトス

第四条 本借款ノ期限ハ拾五年ヲ以テ期トス契約調印ノ日より大正十三年五月十五日ニ至ル間ハ只利息ノミ中華民國十三年五月十五日

協理 羅兆棟(印)

「右見証ス

大正三年五月十五日

在上海

日本帝国總領事代理 村上 義温(印)」

(附屬書二)

写

第二統借契約書

江西南潯鐵路有限公司ト東亜興業株式会社トノ間ニ明治四十五年七月八日訂結セル借款契約書第八條ニ拠リ第二統借契約ヲ為ス事左ノ如シ

第壹条 江西南潯鐵路有限公司ハ資金不足ニ付南昌迄工事ヲ完成スル為メ第二統借トシテ日本通貨金貳百万円ヲ借用シ其全額ヲ其儘東亜興業株式会社ニ預ケ置キ工事ノ進行ニ随ヒ領取スルモノトス

第貳条 本借款ハ全壹百万ニ手取九拾五円トス

第參条 利息ハ年六分五厘トス金子交付ノ日より起算シ毎年二期ニ分チ上期ヲ六月トシ下期ヲ十二月トシ上海ニ於テ東亜興業会社ノ指定スル銀行ニ交付スルモノトス
八 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 (一) 三〇九

ヲ仕払ヒ大正十三年五月十六日より中華民國十三年五月十五日ニ至ル五個年毎六月及十二月ノ二回ニ於テ各元金五万円宛利息ト共ニ仕払フモノトス
第五条 本借款ニ対スル担保明治四十五年七月八日附借款契約第五條規定ノ担保ヲ共通スルモノトス

第六条 本借款ニ対スル双方ノ權利義務ニシテ此契約ニ規定セルモノ、外ハ總テ明治四十五年七月八日附借款契約各条項及附則各項ノ規定ニ準拠スルモノトス

本契約書ハ日支兩國文ヲ以テ正本各參通ヲ作成シ双方署名調印ノ上在上海日本帝国總領事ノ見証ヲ受ケ当事者ニ於テ各々通ヲ所有シ他ノ尅通ハ之ヲ在上海日本帝国總領事館ニ呈出スルモノトス

大正 三年五月十五日
中華民國三年五月十五日

東亜興業株式会社

社長古市公威代理取締役 白岩 竜平(印)

駐滬代表 河野久太郎(印)

江西南潯鐵路有限公司總經理 吳 鈞(印)

名譽總理 陳 三 立(印)

第四条 本借款ノ期限ハ貳拾參年トス契約ノ日より起リ第拾八年ニ至ル迄ハ只利子ヲ交付シ第拾九年ヨリ起リ第貳拾參年ニ至ル五個年間ハ毎年六月及十二月ニ於テ元金四拾万円宛利息ト共ニ均分還済ス其時ニ至リ還済シ能ハサルトキハ更ニ五年間繼續スルヲ得若シ前借款金五百万円及続借金五拾万円ノ元利還済方該条約第四条ニ拠リ五個年間延長スルトキハ本借款モ亦双方協議ノ上更ニ逐次還済期限ヲ延長スルコトヲ得

第五条 江西南潯鐵路有限公司ハ前条ノ借受金ニ対シ日本通貨金五万円宛ノ借拠四拾通ヲ作り東亜興業株式会社ニ提供スルモノトス

第六条 本借款ニ対スル担保ハ明治四十五年七月八日附借款契約第五條規定ノ担保ヲ共通スルモノトス

第七条 本借款ニ対スル双方ノ權利義務ニシテ此契約ニ規定セルモノ、外ハ總テ明治四十五年七月八日附借款契約各条項及附則各項ノ規定ニ準拠スルモノトス

本契約書ハ日支兩國文ヲ以テ正本各參通ヲ作成シ双方署名調印ノ上在上海日本帝国總領事ノ見証ヲ受ケ当事者ニ於テ各々通ヲ所有シ他ノ尅通ハ之ヲ在上海日本帝国總領事館ニ

呈出スルモノトス

大 正 三年五月十五日

中華民國三年五月十五日

東亜興業株式会社

社長古市公威代理取締役 白岩 竜平(印)

駐滬代表 河野久太郎(印)

江西南潯鐵路有限公司総理 呉 鈞(印)

名譽総理 陳 三 立(印)

協 理 羅 兆 棟(印)

第二統借契約書

附 条

本契約ノ各条項ハ大正三年六月三十日ニ至リ効力ヲ生スルモノトス若シ同日以前ニ於テ中華民國政府ニ於テ南潯鐵道国有ノ手續ヲ了シタルトキハ本契約ヲ廢棄スルコトヲ双方合意ス

「右見証ス

大正參年五月拾五日

在上海

日本帝國總領事代理 村上 義温(印)

将来ニ涉リ右以上ハ正式ニ言明スルコト能ハサルモ個人トシテハ該鐵道ヲ国有トナスハ行ヒ得ヘカラサルコトト認ムルカ故ニ帝國政府ニ於テ安心セラレテ可ナリト云ヘリ右様ノ次第ナルニ付テハ此ノ上文書ヲ以テ確認セシムルコトハ甚タ困難ナルノミナラス強テ之ヲ求ムルニ於テハ却テ反對ノ結果ヲ来シ折角ノ言明ヲモ覆ヘス虞アリ旁右ニハ何等言及セス引取りタル次第ナルカ此ノ上ノ手段トシテハ白岩等ニ於テ株主側ノ運動ヲ適當ノ時機ニ停止セシメ支那政府ヲシテ詮議ノ余地ナカラシムル様仕向クルノ外ナカルヘント存ス

上海ヘ電報シタリ

三一 六月二十九日

在上海有吉總領事ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道統借款契約ノ効力發生ニ関スル件

第四〇号

往電第三四号ニ関シ南潯鐵道ハ依然公司ノ手ニテ工事続行スルニ付議ニ調印ノ契約ハ期日(六月三十日)ニ至リ効力ヲ生スルモノト承知アリタキ旨在北京吳總理ヨリ当地白岩等ニ電報シ来レリ念ノ為

八 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 (一) 三一 (二) 三二

三一〇 五月二十六日

在中国山座公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵道ヲ国有トスル考無キ旨葉交通次長再

言明ノ件

第四〇七号

貴電第二四五号ニ関シ五月二十六日葉次長ニ面会シ懇談ヲ遂ケタルカ結局葉ハ(一)南潯鐵道ハ我方ニ於テ希望シタル寧湘鐵道又ハ大倉組ト關係アリタル蘇杭甬鐵道トハ全然事情ヲ異ニシ日本國トノミ特殊關係ヲ有セルモノナルコトヲ認メ居レリ(二)南潯鐵道会社ヨリ国有運動ノタメ委員ヲ上京セシムヘシトノコトハ聞及ヒ居ルモ政府ニ於テハ目下之ヲ国有トナス考毫モ之レ無ク右ニ関シ帝國政府ノ得ラレタル報道ハ事實無根ナリ(三)將來若シ国有トナサントスルカ如キコトアラハ必ス予メ本使ヘ通知スヘシ(四)国有ニ関シ何等計畫ダニ有セサル今日將來第三國ノ資本ヲ用キルト否トヲ此ノ際論スルカ如キハ露骨ニ謂ハ、取越苦勞ト云フノ外ナシ第一第三國ノ資本ヲ以テ国有トナスカ如キ計畫ヲ立ツル場合ニハ是又本使ニ相談スヘシト述ヘ尚次長トシテ殊ニ新任總長未ダ就任セサル今日(六月一日就任ノ筈ナリト云ヘリ)

在支公使ヘ転電セリ

三 安正鐵道

三二 一月十九日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛

安正鐵道布設反対ノ公文政府公報ニ發表ノ件

附屬書一

民國二年十二月二十九日附周交通總長ヨリ皖北正陽商務總會宛指令

安正鐵道布設却下ノ件

二

民國三年一月六日附交通部ヨリ熊國務總理及張農商總長宛公文

安正鐵道布設禁止方請求ノ件

機密第二四号

(一月十九日接受)

大正三年一月十九日

在支那

特命全權公使 山座 円次郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

本件ニ関シテハ客年十一月廿四日附政機密第三四一号御申越ノ次第有之候ニ付關係書類ヲ調査考究ノ上可然処置ヲ取

四九七